



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2023年1月30日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2022年12月分）

◎ 県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで回復しつつある。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を下回る。

新車販売台数は前年同月を上回る。

中古車販売台数は前年同月を下回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月を上回る。

☆ 企業倒産：件数は前年同月と同数、負債総額は下回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2022年12月分)

◎2022年12月 おきぎん「カトレア」景況図



◎ 概況：県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで回復しつつある。

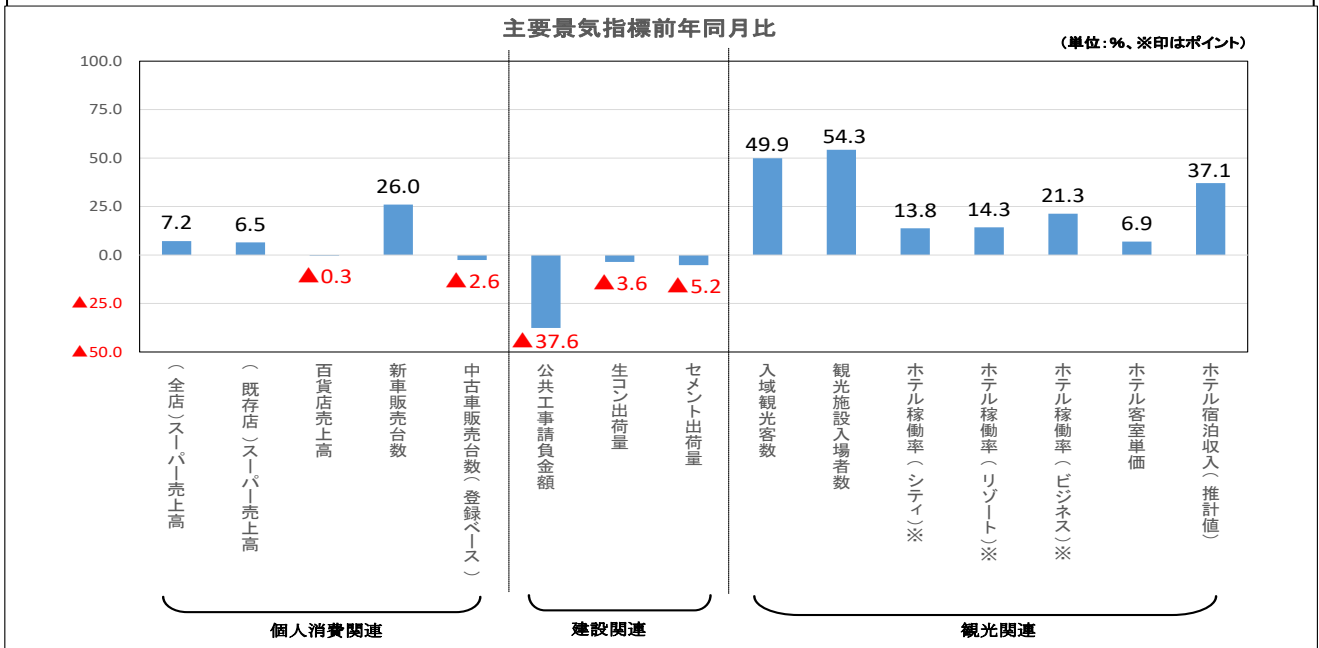
12月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月上回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である新車販売台数は前年同月上回り、中古車販売台数は前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月上回り、観光施設入場者数も前年同月上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同月上回りました。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は物価高の影響を受けながらも回復しつつあり、観光関連は、全国旅行支援の実施などで回復しつつあります。建設関連は、民間工事に持ち直しがみられるものの、弱い動きが続いています。よって、「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで回復しつつある」と景気判断を据え置きました。

(2022年11月の上方修正から2か月連続で判断維持)



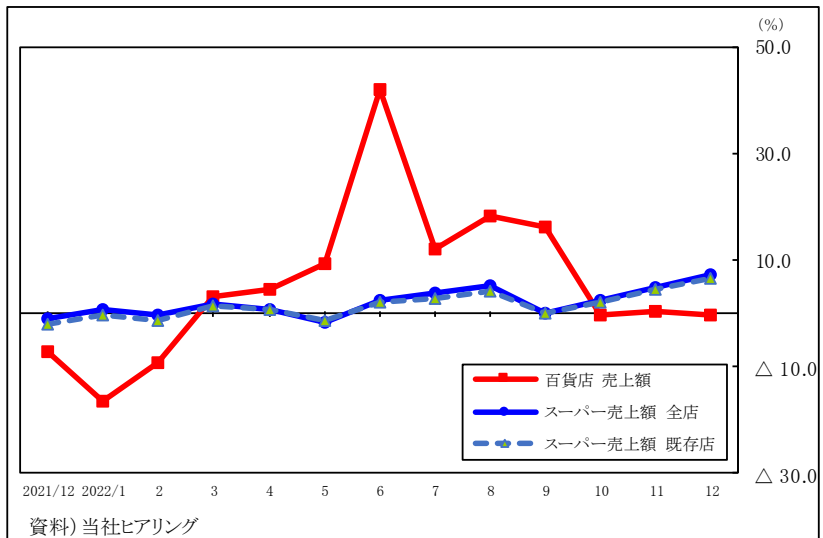


■個人消費：(ふつう)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2021/12	△ 0.9	△ 1.9	△ 7.2
2022/1	0.7	△ 0.2	△ 16.3
2	△ 0.3	△ 1.2	△ 9.3
3	1.9	1.5	3.3
4	0.6	0.6	4.6
5	△ 1.5	△ 1.3	9.2
6	2.6	2.1	42.1
7	3.9	2.9	12.0
8	5.3	4.2	18.4
9	0.2	0.1	16.3
10	2.6	2.2	△ 0.3
11	5.0	4.6	0.4
12	7.2	6.5	△ 0.3



注) 前年同月比

12月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比7.2%増)」は、7ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同7.9%増)」、「家庭用品(同5.6%増)」はクリスマス関連、年末年始関連等の季節商品の売り上げ伸長や一部物価高の影響などにより、前年同月を上回りました。「衣料品(同8.2%増)」は中旬から下旬にかけて気温が下がり、冬物衣料の販売が好調に推移したことなどにより前年同月を上回りました。

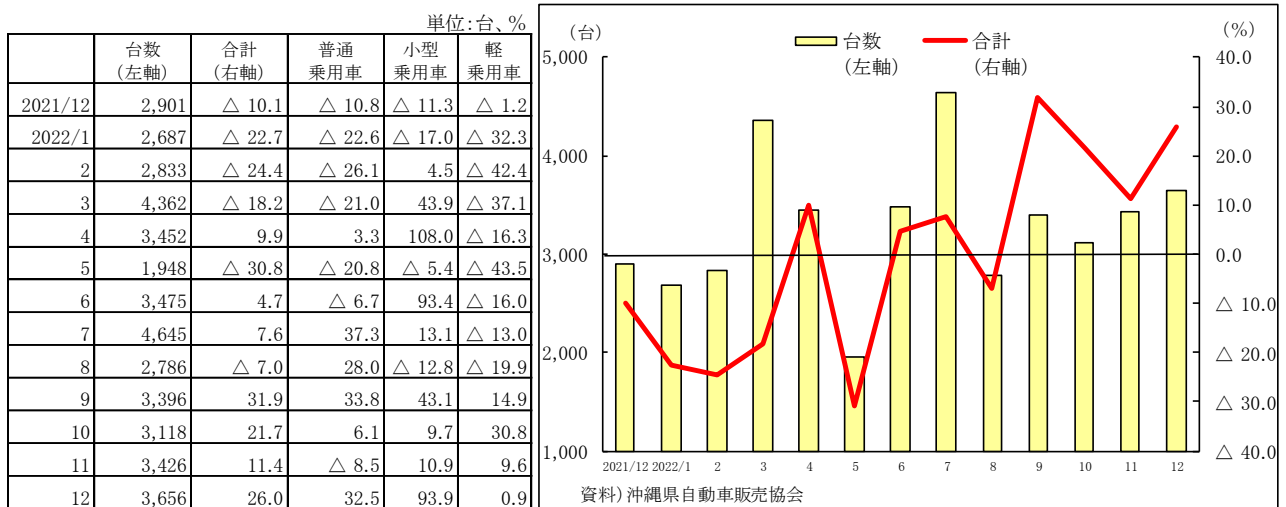
「既存店ベース(同6.5%増)」は、7ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同7.1%増)」、「家庭用品(同3.8%増)」は季節商品の好調や、物価高騰の影響などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同8.4%増)」は天候要因などにより、前年同月を上回りました。

(参考値)コロナ禍以前の2019年同月比では、7.2%増となりました。

百貨店売上高は、前年同月を下回りました(同0.3%減)。内訳をみると「食料品(同0.2%増)」は、お歳暮ギフト商品や来店客数増加に伴う惣菜類の買い回りの好調などにより前年同月を上回りました。一方、「衣料品(同1.3%減)」、「身廻品(同7.4%減)」は物価高騰の影響による節約志向の高まりなどにより前年同月を下回りました。全体としては2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

(参考値)コロナ禍以前の2019年同月比では、全体で25.4%減となりました。

② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を上回る。



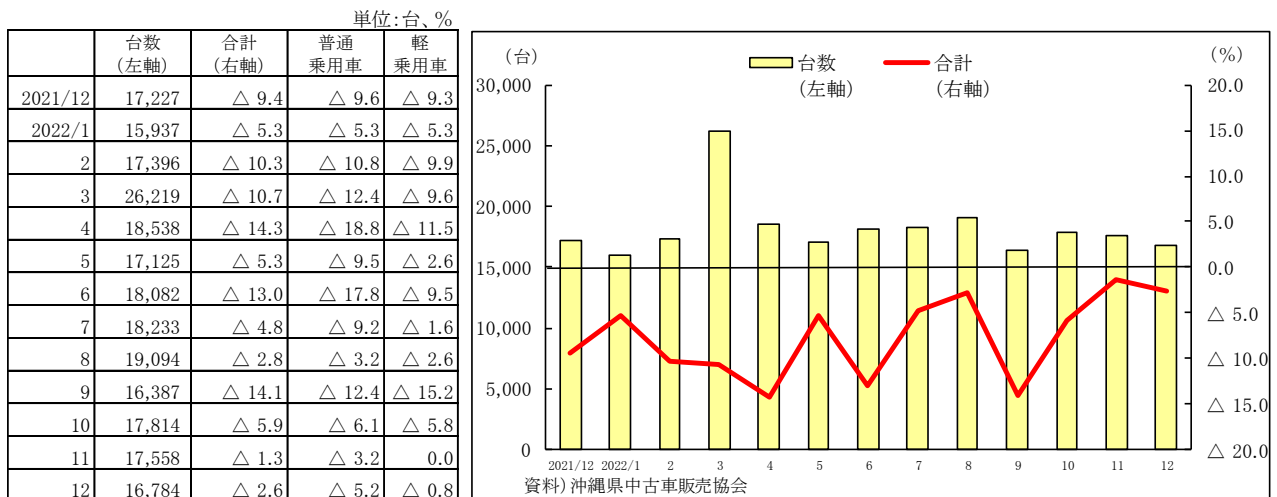
注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で3,656台(同26.0%増)となり、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車(同32.5%増)」、「小型乗用車(同93.9%増)」、「軽乗用車(同0.9%増)」は供給制限の影響が改善しつつあることやレンタカー台数の増加などにより前年同月を上回りました。

(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比では、全体で13.1%増となりました。車種別では、普通乗用車28.3%増、小型乗用車12.0%増、軽乗用車5.3%増となっています。

③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 登録ベース

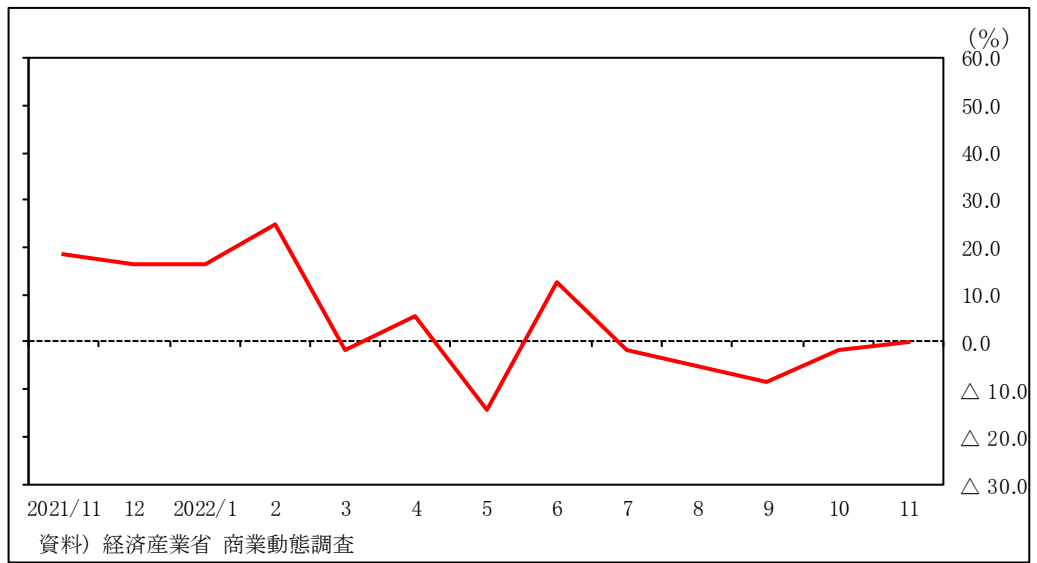
中古車販売台数(登録ベース)は、全体で16,784台(同2.6%減)となり、15ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「乗用車(同5.2%減)」、「軽自動車(同0.8%減)」共に市場の供給減少に伴う価格高騰などにより、前年同月を下回りました。

(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比は全体で3.4%減となり、車種別では乗用車6.2%減、軽自動車1.5%減となりました。

④ 【参考：11月】大型家電専門店販売額…販売額は前年同月並みとなる。

単位:%

	販売額
2021/11	18.5
12	16.6
2022/1	16.6
2	24.9
3	△ 1.7
4	5.4
5	△ 14.5
6	12.6
7	△ 1.7
8	△ 5.2
9	△ 8.5
10	△ 1.8
11	0.0



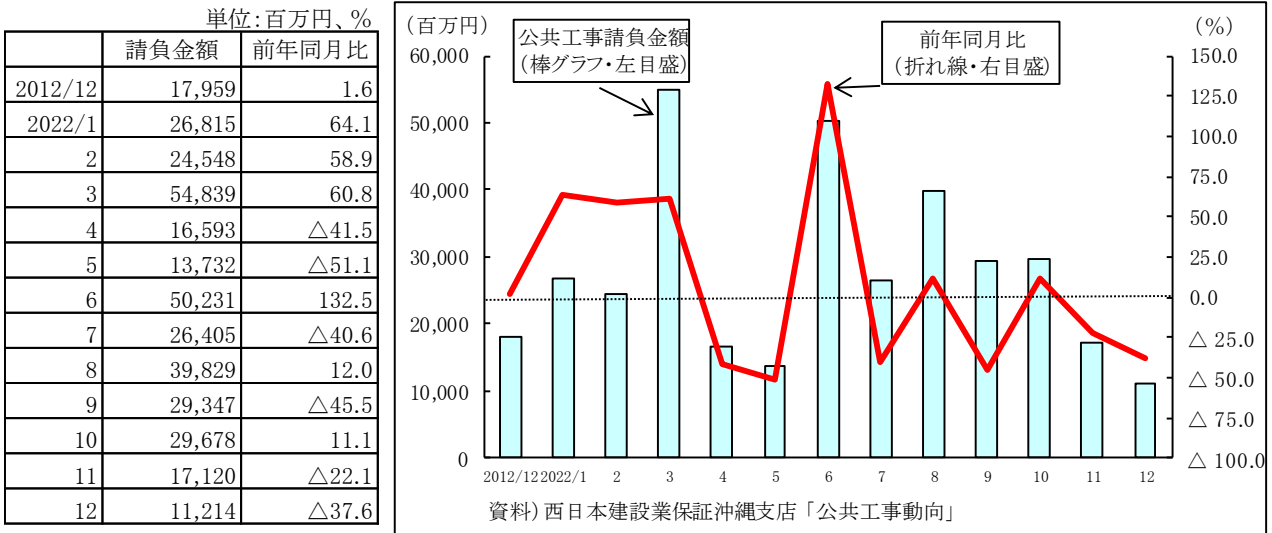
注)前年同月比

11月の大型家電専門店販売額は前年同月並みとなりました。

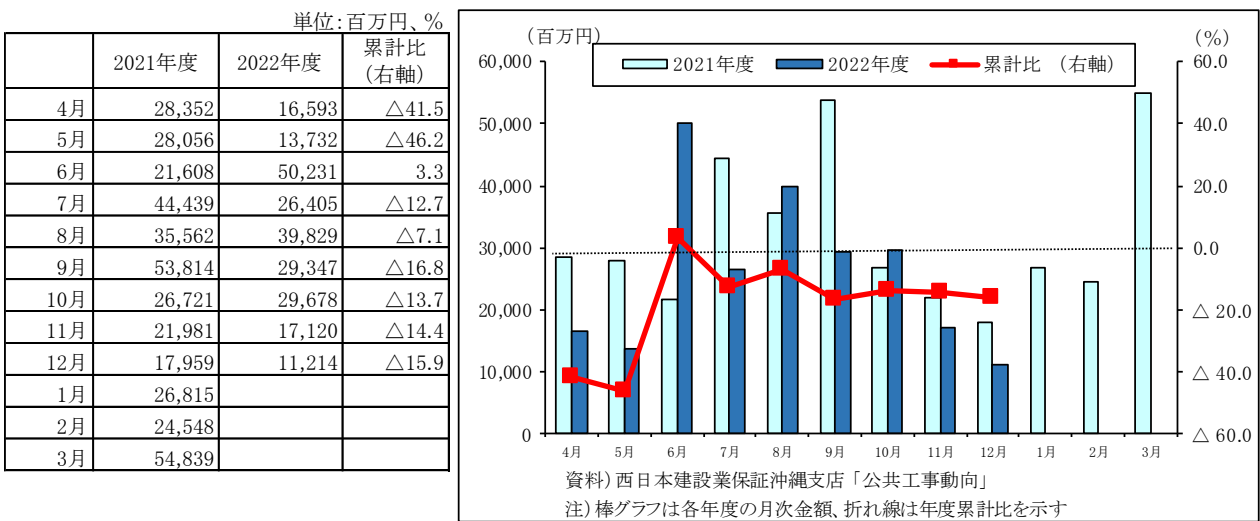


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。



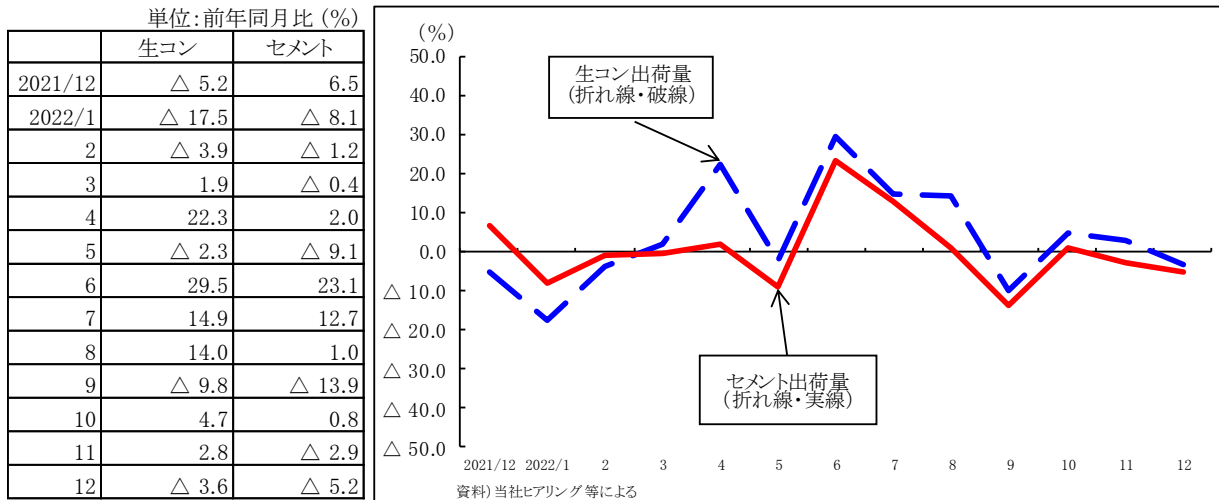
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を下回る。



12月の公共工事請負金額は、前年同月比 37.6%減の 112 億 1,400 万円となりました(2ヵ月連続減)。

発注者別でみると、「市町村(同 39.6%減)」、「独立行政法人等(同 98.7%減)」、「国(38.4%減)」、「その他(同 4.2%減)」は前年同月を下回りました。一方、「沖縄県(同 15.5%増)」は前年同月を上回りました。

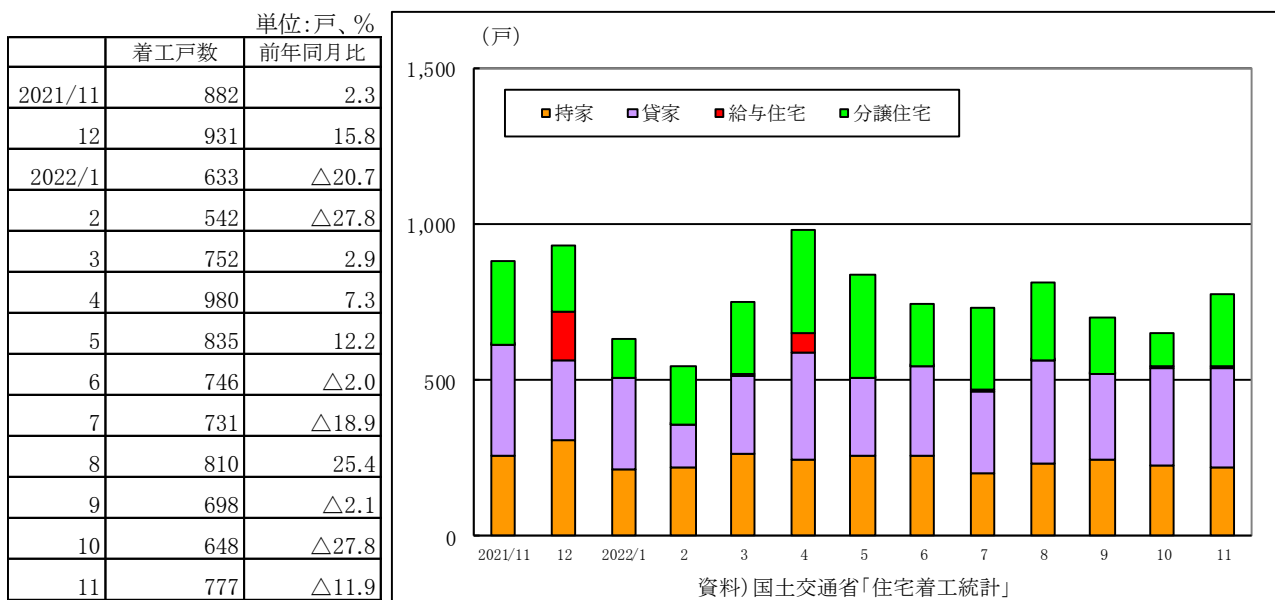
②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。



(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

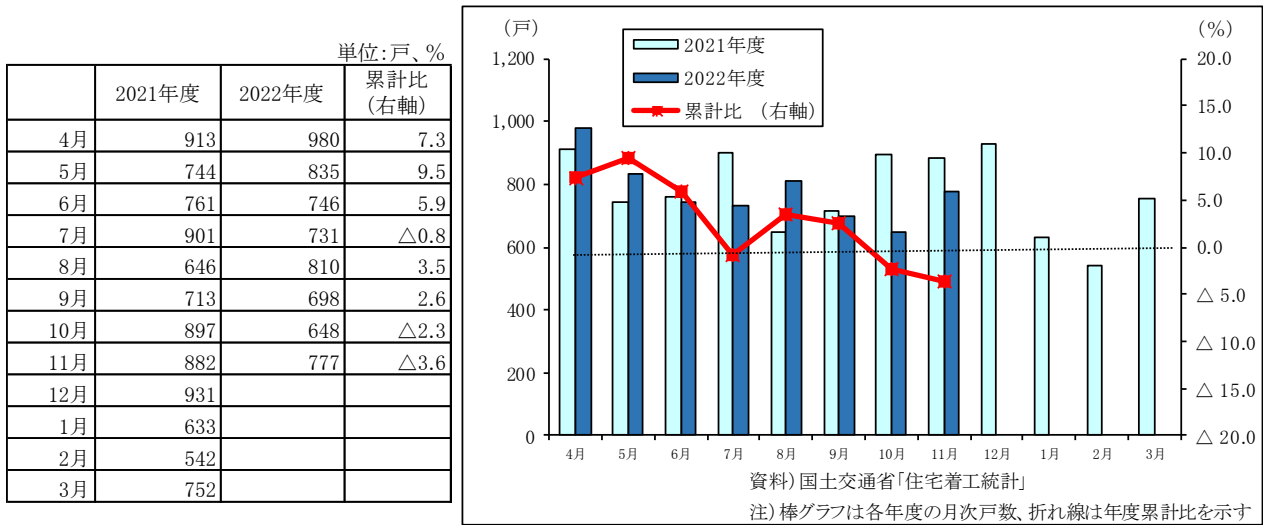
建設資材関連では、生コンの出荷量は 3.6%減と3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは宮古圏域での出荷が減少したことなどから前年同月を 5.4%下回り、民間工事向けは中南部での出荷が減少したことなどから前年同月を 2.6%下回りました。セメント出荷量は 5.2%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③【参考】住宅投資(11月)・・・着工戸数は前年同月を下回る。



11月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比11.9%減の777戸となり、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「持家(同14.6%減)」、「分譲住宅(同13.4%減)」、「貸家(同9.8%減)」は前年同月を下回りました。一方、「給与住宅(300.0%増)」は前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。

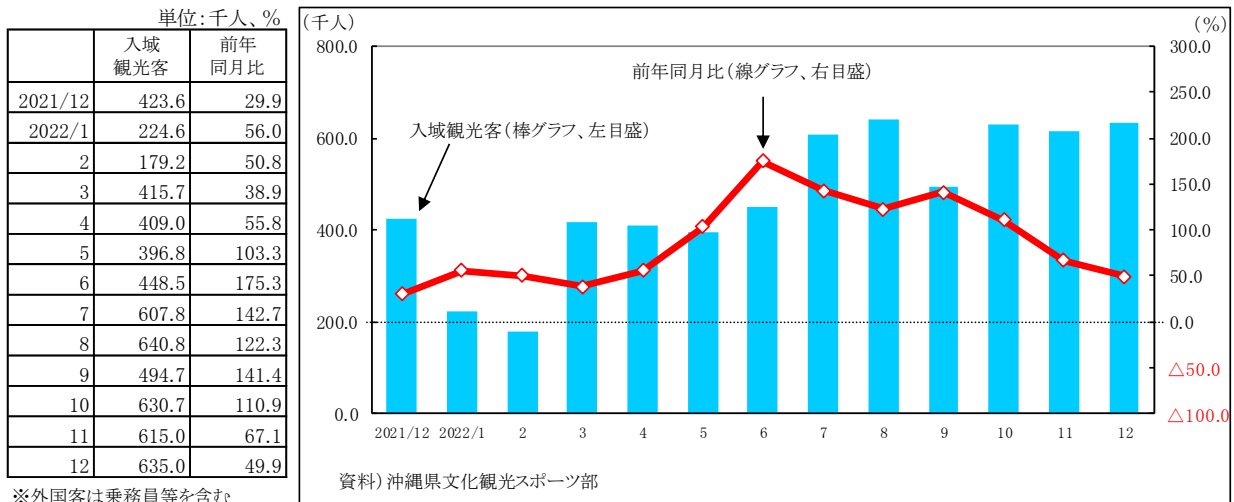


今年度累計値では、3.6%減となっています。



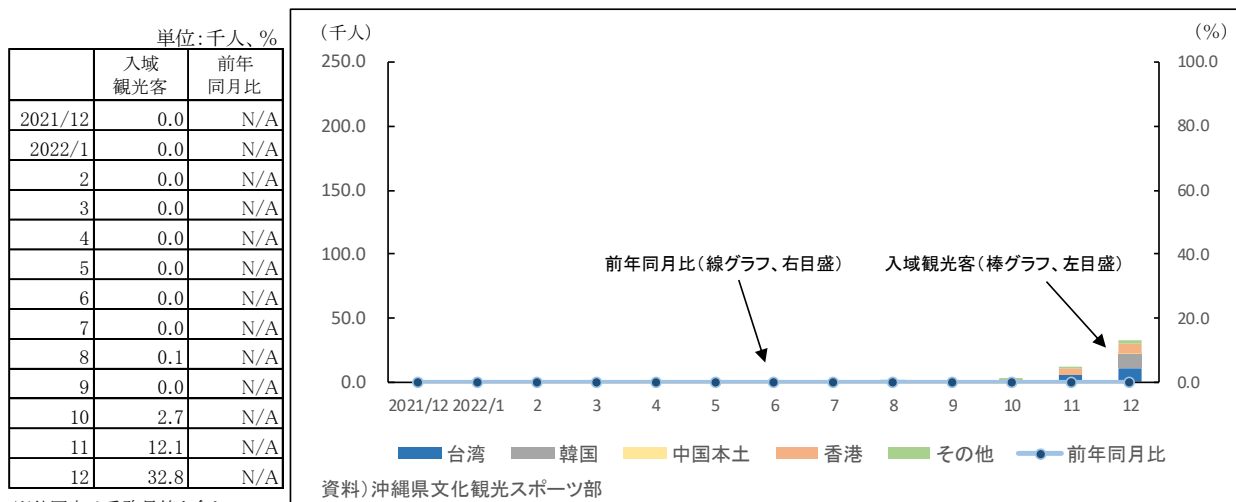
■観光関連： (ふつう)

①入域観光客数(国内客・外国客の合計)・・・前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

外国客入域観光客数・・・32,800人の入域となる。



※外国客は乗務員等を含む

12月の入域観光客数は、全国旅行支援の実施や、年末の増便の影響などから、211,400人多い635,000人(前年同月比49.9%増)となり、13ヵ月連続で前年同月を上回りました。

2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、120,100人減少(15.9%減)と下回っています。

2019年同月比(国内客)では、29,500人増加(5.2%増)となっています。

外国客入域観光客数は、台湾や香港の路線に加え、韓国(仁川-那覇)路線の運行再開などにより、32,800人の入域がありました(台湾10,400人、韓国12,300人、中国本土200人、香港7,500人、その他2,400人)。今後も各路線の運航再開や増便などにより、外国客数の緩やかな回復が見込まれています。

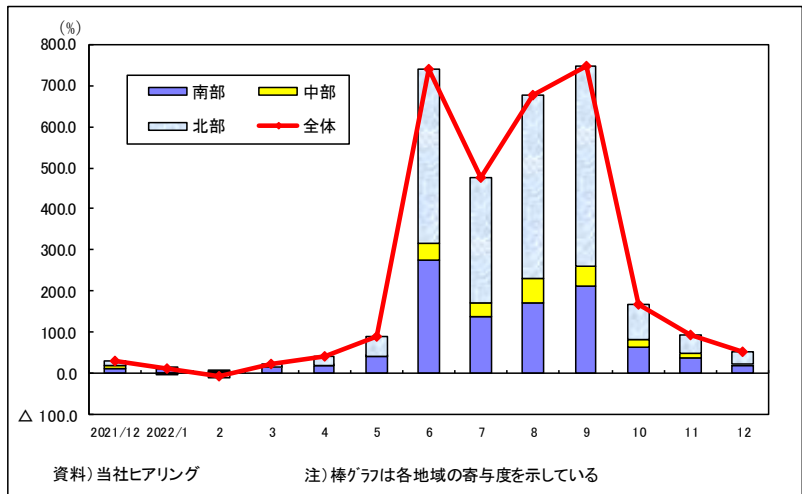
②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2021/12	29.4	36.2	46.7	20.9
2022/1	11.6	42.8	△ 15.5	6.7
2	△ 6.6	23.7	10.0	△ 15.7
3	24.9	60.7	11.3	13.1
4	43.0	61.6	12.2	38.9
5	90.1	153.6	16.8	77.5
6	738.2	1,132.3	472.1	629.3
7	475.9	460.8	479.3	482.7
8	675.0	373.7	519.5	1,039.8
9	747.4	510.6	559.3	978.8
10	168.8	237.0	179.0	137.6
11	92.2	108.9	70.5	85.1
12	54.3	59.0	19.6	61.9

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



12月の観光施設入場者数は、全国旅行支援の実施に伴う個人客・団体客増加などから、全体では54.3%増となり10ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、北部の観光施設は61.9%増、南部は59.0%増、中部は19.6%増となりました。

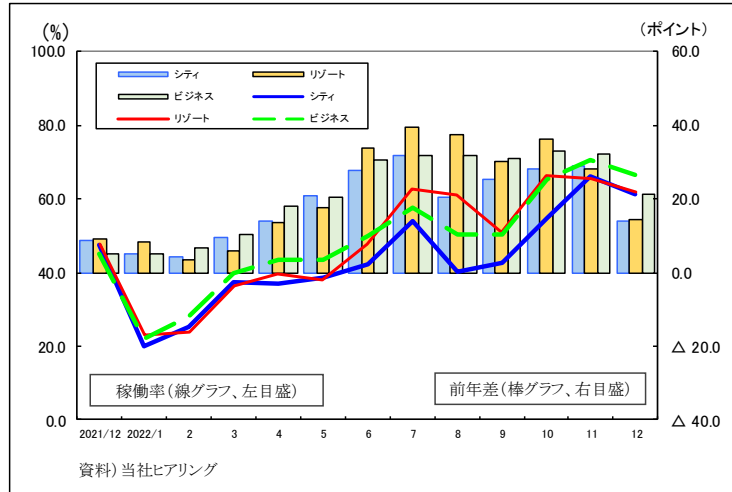
(参考)2019年同月比では、全体で30.7%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は25.3%減少、南部は34.4%の減少、中部は39.6%の減少となっています。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2021/12	47.4	47.5	45.1	8.5	9.0	5.2
2022/1	20.1	23.2	22.0	4.9	8.3	5.1
2	25.1	24.0	27.9	4.1	3.4	6.7
3	37.3	36.2	40.0	9.5	6.0	10.2
4	36.8	39.8	43.5	13.8	13.4	18.0
5	38.6	37.9	43.3	20.7	17.6	20.6
6	42.1	47.5	49.9	27.6	33.9	30.6
7	53.9	62.5	57.5	31.8	39.5	31.6
8	40.2	61.1	50.3	20.4	37.6	31.6
9	42.7	51.1	50.2	25.1	30.3	31.0
10	54.9	66.2	65.3	28.1	36.0	33.1
11	66.0	65.6	70.7	28.9	28.3	32.0
12	61.2	61.8	66.4	13.8	14.3	21.3

注) シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



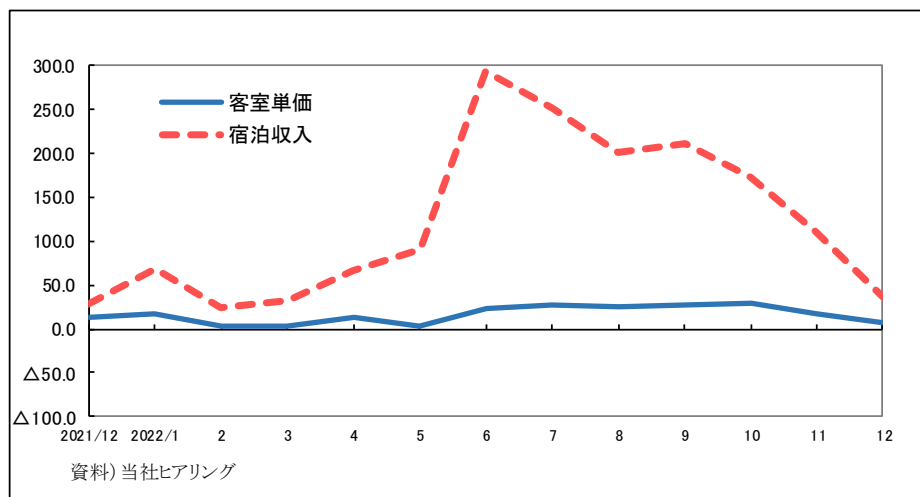
県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比13.8ポイント増加、リゾートホテルは14.3ポイント増加、ビジネスホテルは21.3ポイント増加しました。全国旅行支援の実施(27日宿泊分まで)などから、前年同月を上回りました。

(参考) 2019年同月比では、シティホテルは10.9ポイントの減少、リゾートホテルは0.0ポイント、ビジネスホテルは1.0ポイントの増加となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入・・・ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2021/12	12.4	28.9
2022/1	16.9	69.4
2	2.9	24.1
3	2.3	31.6
4	14.1	66.2
5	3.4	91.2
6	24.1	293.8
7	27.7	251.1
8	24.7	201.3
9	26.5	211.9
10	30.1	173.2
11	16.4	110.8
12	6.9	37.1



※対象施設数: 26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く
※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は6.9%増と13ヵ月連続で前年同月を上回り、**宿泊収入**においても37.1%増と13ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考) 2019年同月比では、客室単価は8.4%の上昇、客室収入は14.2%の上昇となっています。

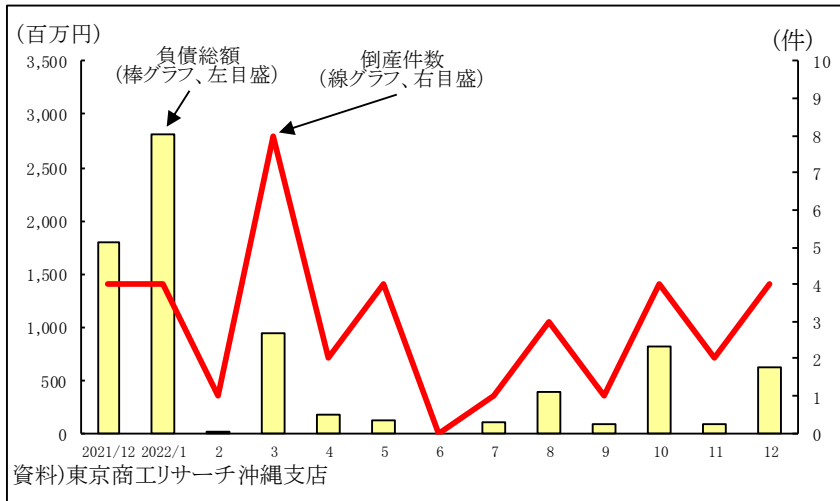


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数は前年同月と同数、負債総額は下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2021/12	1,803	4
2022/1	2,819	4
2	10	1
3	935	8
4	170	2
5	120	4
6	0	0
7	94	1
8	381	3
9	83	1
10	816	4
11	75	2
12	617	4



注)負債総額1,000万円以上を集計対象

12月の**企業倒産件数**は4件(うち大型倒産は2件)となり、前年同月と同数となりました。

負債総額は6億1,700万円となり、前年同月より65.8%下回りました。

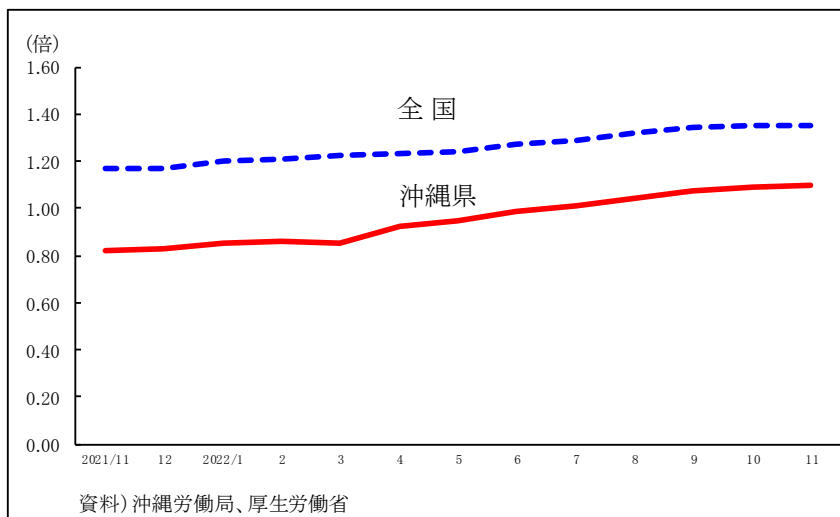


■雇用関連： (ふつう)

①【参考】有効求人倍率(11月)・・・沖縄は前月より上昇、全国は同水準。

単位:倍

	沖縄県	全国
2021/11	0.82	1.17
12	0.83	1.17
2022/1	0.85	1.20
2	0.86	1.21
3	0.85	1.22
4	0.92	1.23
5	0.95	1.24
6	0.99	1.27
7	1.01	1.29
8	1.04	1.32
9	1.07	1.34
10	1.09	1.35
11	1.10	1.35



注)季節調整済

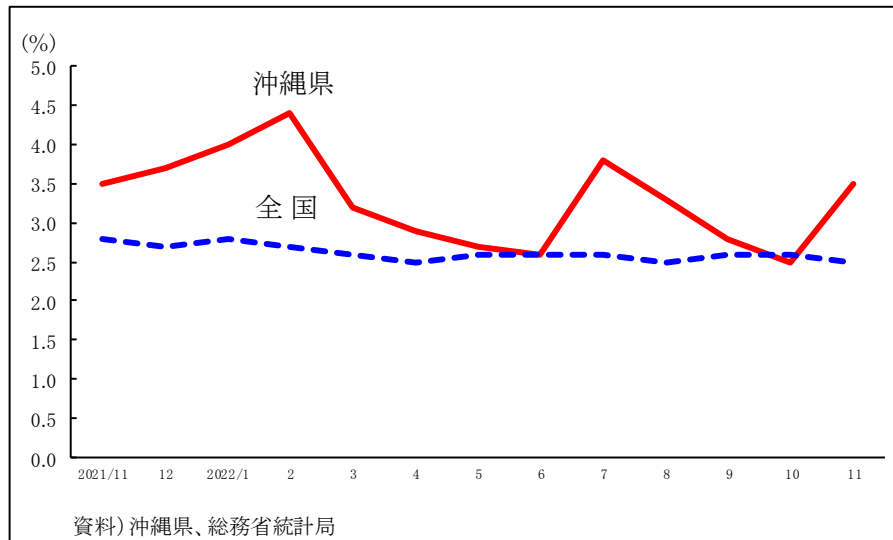
注)沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

11月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比1.5%減の32,532人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比2.5%減の29,497人となり、**有効求人倍率(季節調整値)**は1.10倍と、前月より0.01ポイント上昇となりました。

②【参考】完全失業率(11月)・・・沖縄は前月より上昇、全国は低下。

単位:%

	沖縄県	全国
2021/11	3.5	2.8
12	3.7	2.7
2022/1	4.0	2.8
2	4.4	2.7
3	3.2	2.6
4	2.9	2.5
5	2.7	2.6
6	2.6	2.6
7	3.8	2.6
8	3.3	2.5
9	2.8	2.6
10	2.5	2.6
11	3.5	2.5



注) 季節調整済

11月の完全失業率(季節調整値)は、3.5%となり前月より1.0ポイント上昇しました。